

Week of October 5, 2025 - The Spiritual Body　　Small Group Lesson 36

知り合う

将来、自然にあなたの人格の一部になるようにと願っているような事で、最近、あなたが意識して身につけようとしている習慣や、心の姿勢はありますか？

聖句　コリントの信徒への手紙一 15:35-49（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

35 しかし、死者はどのように復活するのか、どのような体で来るのか、と聞く者がいるかもしれません。36 愚かな人だ。あなたが蒔くものは、死ななければ命を与えられることはありません。37 あなたが蒔くものは、後にできる体ではなく、麦であれ他の穀物であれ、ただの種粒です。38 神は、御心のままに、これに体を与え、一つ一つの種にそれぞれ体をお与えになります。39 どの肉も同じというわけではなく、人間の肉、獣の肉、鳥の肉、魚の肉と、それぞれ違います。40 また、天上の体もあれば、地上の体もあります。しかし、天上の体の輝きと地上の体の輝きとは異なっています。41 太陽の輝き、月の輝き、星の輝きと、それぞれ違いますし、星と星との間にも、輝きに違いがあります。42 死者の復活もこれと同じです。朽ちるもので蒔かれ、朽ちないものに復活し、43 卑しいもので蒔かれ、栄光あるものに復活し、弱いもので蒔かれ、力あるものに復活し、44 自然の体で蒔かれ、霊の体に復活します。自然の体があるのですから、霊の体もあるわけです。45 聖書に「最初の人アダムは生きる者となった」と書いてありますが、最後のアダムは命を与える霊となりました。46 つまり、霊のものではなく、自然のものが最初にあり、それから霊のものがあるのです。47 最初の人は地に属し、土からできた者ですが、第二の人は天に属する方です。48 土からできた者たちはすべて、土からできたその人に等しく、天上の者たちはすべて、天上のその方に等しいのです。49 私たちは、土からできた人のかたちを持っていたように、天上の方のかたちをも持つようになります。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 31〜37節で、パウロは復活の過程の真実を読者に納得させるために論理を用いています。彼はどのような論理を用いていますか？

2. 41節において、「栄光」（または「輝き」）という言葉は、この文脈でどのような意味を持っているのでしょうか？太陽、月、星のそれぞれの輝きは、神が異なる種類の素晴らしい身体をデザインされていることを、どのように示していますか？

3. 42〜44節で、パウロが語っている霊のからだについての類似点と相違点には、どのようなものがありますか？

4. 49節で、パウロの論理はどのように結論づけられているでしょうか？また、その結論を導くために使われている2人の人物は誰ですか？

分かち合い

話し合い　その1

タケシ牧師は、ガソリンスタンドにいた老人の話を紹介しました。その老人は「どこに引っ越したとしても、自分の態度は一緒についてくるものだ」と言いました。この例え話は、天国がどのような場所であるか、そして地上がどうあり得るかという聖句の内容を、どのように際立たせていますか？

話し合い　その2

タケシ牧師は、モーセが荒野という困難な状況の中でも「天国の前触れ」を体験したと語っています。あなたは今週、どのようにして満足し、神との親しい関係を築いていくことができますか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。